

当院にて平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日までに自然気胸の治療を受けた患者さん、およびご家族の方へ

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

胸腔内圧測定^{*1}を用いた、原発性自然気胸^{*2}に対する脱気治療成否の予測

*1：胸腔内圧計測とは、自然気胸の治療の際に、脱気治療のチューブに測定器材を接続し、肺を囲んでいる胸腔（きょうくう）の圧を測定することです。

*2：原発性自然気胸とは、肺が一部袋状になり、そこに穴が空き空気が漏れる病気を気胸といいます。事故やケガで肺に穴が空くのではなく、自然と穴が空く病気を自然気胸と呼びます。

【研究背景・目的】

日本における気胸の治療法をまとめた「自然気胸治療ガイドライン」によりますと、自然気胸の治療法を選ぶ時には胸腔内圧を計測することが大切と報告されています。当院では脱気治療を行う患者さんに胸腔内圧計測^{*3}を行っております。

この研究では、脱気時の胸腔内圧の値により、自然気胸のその後の経過を予測することが可能かについて検討を行いました。

*3：脱気治療とは、胸に開けた小さな穴から、専用の医療用チューブを挿入して胸腔に漏れ出た空気を身体の外へ出す治療のことです。

【情報提供期間】

この研究期間は、平成 29 年 3 月 22 日から平成 29 年 4 月 21 日までです。

【研究対象】

- ・対象者数 : 27 名
- ・対象期間 : 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日まで
- ・対象者 : 当院を受診された自然気胸の患者さんで、脱気治療を行った際に胸腔内圧計測を受けた患者さん
- ・取得情報 : 性別、既往歴、家族歴、喫煙歴、薬剤歴、3 日後の気胸再発の有無、胸腔内圧計測値

【研究方法】

過去に遡り収集を行い、気胸の再発率について統計学的に検討を行いました。

【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益：本研究により対象者が直接受けることができる利益はありません。しかし、本研究の目的とするところが明らかになると、将来、自然気胸の患者さんの病態把握や治療による効果判定、合併症予防等、社会的な利益につながるものと考えられ、より効果的な治療を開始できる可能性があります。

不利益：本研究は通常の診療により得られた情報のみを用いる研究であり、収集したデータに関しては、匿名化を行って使用しますので、患者さんご本人へ直接的な不利益が生じることはありません。

【利益相反について】

本研究は飯塚病院呼吸器内科の自主研究として実施するものであり、企業やその他、外部からの資金提供はありません。しかしながら、研究に参加する医師のなかには、この研究以外において外部から研究資金、講演会講師料、旅費等を受けている者もいます。この研究は「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に基づき飯塚病院倫理委員会の承認を受けて適正に行われます。資金の提供があってもそれが研究の結果に影響を及ぼすことはありません。研究資金が必要な場合は、飯塚病院の研究費、もしくは研究者らの費用で賄われます。

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 呼吸器内科 部長 飛野和則

研究分担者：飯塚病院 呼吸器内科 宮嶋宏之

【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 呼吸器内科 飛野和則

TEL：0948-22-3800（代表）